

学校目標・経営方針	Chuoハーモニックプランに基づき、自らを尊び、社会を生き抜く人づくりをする
-----------	--

本年度の重点目標	学ぶ楽しさ、わかる喜びを知り、自らの生き方や在り方を問い続ける人づくりをする。
	社会性を身につけ、自立と自律を目指す人づくりをする。
	自らを尊び、他者を尊び、地域を尊ぶ人づくりをする。

達成度	A ほぼ達成できた。(8割以上)
	B 概ね達成できた。(6割以上)
	C 不十分である。(4割以上)
	D 達成できなかった。(4割以下)

評価	4 良くできている。
	3 できている。
	2 あまりできていない。
	1 できていない。

自 己 評 価						
本年度の重点目標			年度末評価(令和5年2月)			
番号	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	自己評価結果	達成度	成果と次年度への課題・改善策
1	学ぶ楽しさ、わかる喜びを知り、自らの生き方や在り方を問い続ける人づくりをする。	「わかる」「楽しい」から「もっと学びたい」授業への改善を図っていく。「認める」「引き出す」「まとめる」「コラボする」授業を実現し、教師がファシリテーターとしてのスキルを高める。	学校評価アンケート(生徒、保護者、教職員) 授業アンケート 成績概況 教職員の自己観察書	学校評価アンケートの授業がわかりやすいという項目が保護者、生徒ともに高く、また、授業アンケートもほとんどの項目が前年度を上回っている。生徒自身の授業に対する項目の自己評価も高まっている。そのため、「わかる」授業から「もっと学びたい」授業になっていると思われる。ICTを活用した教育実践についてはアンケートに項目がないため、確認できないが、昨年度よりTeamsなどの普及率、利用率が上昇しており、通信制なりのICT教育が進んでいると思われる。	A	レポートに関する項目が、授業評価では悪かった。これは新教育課程になって、レポートに考えさせる記述欄が増えたことが背景にあるかもしれない。そのため生徒の負担感が高まったことも考えられる。新学習指導要領の内容を生かしながら、どのようにレポートをよりよいものにしていくか課題である。
		面接指導やレポートにおいて、丁寧な指導を行い、本質的な問いかけによって、生徒が自己の生き方や在り方を深めていく。	学校評価アンケート(生徒、保護者、教職員) 授業アンケート 成績概況 教職員の自己観察書			
		ICTを活用した教育実践を具体化する。	学校評価アンケート(生徒、保護者、教職員) 授業アンケート 教職員の自己観察書			
2	社会性を身につけ、自立と自律を目指す人づくりをする。	ハーモニックプランの各要素(自らを尊ぶ、基本的な生活習慣、規範意識、コミュニケーション能力、チームワーク、シンキング、アクション)要素を意識した教育活動を行っていく。	学校評価アンケート(生徒、保護者、教職員) 教職員の自己観察書	進路については、昨年度と同様にChuoハーモニックプランに基づき、昨年度から積極的に取り組んでいる。ただ、昨年度非常に成果が出たので、アンケートでは昨年度と同様の横ばい状態になっている。また、今年度は学校行事としてソーシャルスキルトレーニングを行い生徒の社会性の醸成にも取り組んだ。	B	1人1人の進路状況を早めに早くして丁寧に指導していくが必要だが、それを進路係主導から担任主導に変えていくことに課題がある。
		自己理解から進路実現までを意識した系統的なキャリア教育を行っていく。	学校評価アンケート(生徒、保護者、教職員) 教職員の自己観察書			
		社会的・職業的自立ができるよう、生徒ひとりひとりの懇談を大切に、適切なアドバイスをする。	学校評価アンケート(生徒、保護者、教職員) 教職員の自己観察書			
3	自らを尊び、他者を尊び、地域を尊ぶ人づくりをする。	SCやSSWを活用した校内連携(チーム支援)を促進し生徒指導・支援体制の充実を図り、生徒の生活を支え、自他を尊ぶ心を育む。	学校評価アンケート(生徒、保護者、教職員) 生徒指導支援資料 教職員の自己観察書	学校評価の保護者アンケートでは、学校に相談できる体制が整っているという項目が、着しく向上している。また生徒アンケートでも他の項目が厳しい評価を受けるなかで、学校には悩みを話したり相談できる人がいるという項目だけ横這いである。このような相談支援体制の状況はある程度改善されてきたと思われる。生徒アンケートの中で昨年度より高い項目は防災安全、環境整備に関するものであるが、地域の清掃活動を行うなど、学校行事と絡めて取り組んできた成果が出ている。働き方改革は昨年度に比べて業務の分散がなされるようになってきたと思われる。	B	学校行事等が生徒をより自主的に運営するようにさらに検討していく必要があり、そのことを通じて、人との関係づくりの機会となるようにしていきたい。
		学校行事等において、人との関わりを大切にするとともに、地域を愛し、地域に貢献しようとする心を育む。	学校評価アンケート(生徒、保護者、教職員) 教職員の自己観察書			
		働き方改革を行う中で、教職員が自らを尊び、他者や地域を尊ぶ意識を持つ。	時価員外勤務表 学校評価アンケート(教職員) 教職員の自己観察書			

学校関係者評価	
実施日(令和5年2月)	
評価	意見・要望等
4	質問小目に関しては前年度が総じてすべてよかったと思われるが、今年度に関してはどこに原因があるか考えてみる必要がある。生徒の授業アンケート結果は、前年度に比較してよくなっているが、レポートに関しては悪くなっている。理由は記入する欄が多く、また難易度が高くてこずったのではないかと。先生方は、考えてみる必要がある。仕事をしながら勉学に励む生徒のことを思うとよくやっていると思う。生徒による学校評価アンケートからも「わかる」じゅぎょうから、「もっと学びたい」授業になってきているとのこと。それに対応していくためにもICTn活用が喫緊の課題になっているように思う。近年通信制に在籍する生徒が増加しているが、多くが私立の通信制とのこと。中央高校も過去と比べると在籍数は減少してきている。公立の通信制としてどのような魅力をだしていくのかという大きな課題があり、神奈川県や東京の公立の通信制の取り組みを参考にしていくことが必要だと思う。
3	番号2の成果と次年度の課題・改善策の欄は1人1人の進路状況を早めに把握して、丁寧に指導していくことは必要であるが、それを進路係主導から担任主導に変えたのは総意なのか改善してもらいたい。「Chuoハーモニックプラン」に基づく実践には、生徒になんのための実践かをしっかり説明して意識させることが大切だと思う。ソーシャルスキルを身に付けていくことは、中央高校の生徒には特に必要だと考える。社会的・職業的自立ができるようにキャリア教育を実践し、できるだけ多くの生徒の確実な進路に結びつけていっていただきたい。
3	保護者が学校と相談できる体制が整っているという項目は本当に大事である。また、生徒は学校に悩みを話したり相談できる人がいるということも大事である。生徒のアンケートの中で、昨年度より高い項目は防災安全、環境整備に関するものであるが、地域の清掃活動を行うなど、学校行事と絡めて取り組んできた成果が出ている。生徒による学校評価アンケートで評価が厳しくなっているとのこと。目標である「自らを尊び、他者を尊び、地域を尊ぶ人づくりをする」にかかわっているのではないかとと思われる。通信制にも「生活体験文」もあるので積極的に活用できたら良いと考える。

留意点 (1)重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。

(2)学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日は、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。